

LUMINE Sustainability Information

ルミネ荻窪 イベントレポート

ルミネ荻窪の屋上で、沿線の人と街がつながった日。 『オレンジラインマーケット』が育てる街と人のつながり



街に根ざした場所であり続けるために、ルミネは地域の特性やお客さまのライフスタイルに寄り添い、街に暮らす人たちと一緒にカルチャーをつくることを大切にしています。

そのひとつの形が、2026年5月9日・10日、ルミネ荻窪 7F グリーンテラスで開催された「オレンジラインマーケット」です。中央線沿線のショップやクリエイターが集い、ライブ・トーク・ワークショップ・マルシェが同時に催されるこの2日間は、荻窪という街の空気をそのまま映し出すようなひとときになりました。

屋上に流れる音楽、響き渡る子どもたちの笑い声、初めて訪れるのどこか親しみを感じるお店の数々。訪れた人それぞれが、自分なりのペースでその場を楽しんでいました。

そのような景色が生まれた背景には、ルミネ荻窪がこの街と長年かけて育ててきた、人とのつながりがありました。



■「オレンジラインマーケット」が生まれた理由

「オレンジラインマーケット」の前身は、2023年からルミネ荻窪で開催してきた「中央線文化祭」です。開放的な広場から、街のカルチャーを発信できないかという思いからスタートしたこのイベントは、回を重ねるごとに規模を広げ、今年からは中央線のオレンジカラーを冠した新たな名前に生まれ変わりました。

このイベントで大切にしているのが、「ルミネだけで完結させない」という考え方です。荻窪タウンセブンやセレオ国分寺など周辺の商業施設とも連携しながら、荻窪や沿線一体を一緒に盛り上げていくことを目指しています。

ただのマルシェではなく、街への愛着を育てていくための場所として、「荻窪に住んでいてよかった」「中央線沿いで暮らしてよかった」と感じていただけたら一番いいなと思っています。



■つながりが、街を育てる

地域との関係を長く続けていくうえで大切にしているのが、地元・杉並区をはじめとする自治体や大学などとの連携です。「ルミネだけで何かをやっても、その場でそれ以上のものが生まれない」という思いから、地域のさまざまな団体と一緒にすることで、街全体に新しい動きが広がっていくと考えています。

そうした姿勢は、日々の店づくりにも表れています。ルミネ荻窪は生活の一部として毎日訪れてくださるお客さまが多く、スタッフとお客さまの距離がとても近いのが特徴です。「このスタッフがいるから会いに来る」という方もいるほどで、大きな商業施設でありながら、個人店のような温かい関係性が育まれています。新しく着任したスタッフが「お客さまとの会話が楽しい」と口にするのも、荻窪ならではの空気感があってこそです。



■場をつくる人たち ~ワークショップとPOPUPショップ~

このイベントに集まった出店者は、どのお店も中央線沿線とのつながりや地元への想いを持った方たちばかりです。それぞれが自分たちなりの形で、この場をつくっていました。



①ありがとうを咲かせようアートスタンプラリー | MY FAVORITE THINGS

「日常を“お気に入り”でカスタマイズ」をコンセプトに三姉妹で活動するブランド「MY FAVORITE THINGS」が、母の日をテーマに、荻窪タウンセブンとの連携企画としてアートスタンプラリーを企画しました。スタンプを集めながら「ありがとう」の気持ちをお花の形で咲かせていく仕掛けで、缶バッジのノベルティも用意されています。

「自分の好きを見つける、自分に向き合う体験をしてほしい」というウェルビーイングの想いが、この企画にも一貫して込められているのです。毎年この場を楽しみにしているお客さまがいるというほど、出店を重ねるごとに人とのつながりも深まっています。



②世界に1つだけのアイテムを作ろう！オリジナルチョイスマーケット | Pontre Studio

小平市を拠点にお部屋を彩るインテリア雑貨などの作品を手がける「Pontre Studio」。アクリルをレーザーできれいに切り抜いて作る雑貨や毛糸を打ち込んで作るハンドメイドラグ、体にやさしい最新樹脂を使った小物づくりなど、カラフルな色使いにこだわった手仕事の特徴です。

「地域活性に貢献したい」という想いから出店を決め、手作りキーホルダーのワークショップも開催。ワークショップは特に子どもたちに人気で、「このイベントをきっかけに小平市を知って、お店にも来てくれたら嬉しい」と話してくれました。



③この街から、この味と物語を POPUPショップコーナー

Ome Koala

青梅出身のクリエイターによるショップ「Ome Koala」は、彼女自身がデザインしたコアラのキャラクターグッズを販売しています。「青梅を知らない人に知ってもらいたい」という想いから生まれたブランドで、青梅線・中央線沿線をはじめ活動の場を広げてきました。



野方ホープ

地域活動に力を入れるラーメン店「野方ホープ」は、イベントに合わせてチャーシューサンドを新開発。来場者からも好評で、2度足を運んだお客さまもいたというほどです。



YOU AND

新高円寺のドーナツ屋「YOU AND」は、これまでのイベントでは持ってこれなかったというクリーム系メニューをこの機会に初投入。開放的な屋上の空間と音楽の中で、その味をより特別なものにしていました。



■オレンジの線が、人と街をつないでいく

中央線沿線に暮らす人たちの地元への想いが、荻窪というひとつの場所に集まった2日間でした。私たちルミネ荻窪が目指しているのは、華やかなイベントを開催することではなく、この街に関わるすべての方が「荻窪に来てよかった、中央線沿いで暮らしてよかった」と感じられる場所であり続けることです。

出店者の皆さんも、来場者の皆さんも、スタッフも、それぞれの想いをもち寄ることで、オレンジラインマーケットという場所はつくられました。その積み重ねが、この街をゆっくりと育てていくのだと信じています。

ルミネではサステナビリティ方針「WE ILLUMINATE THE FUTURE

わたしが選ぶ毎日が、わたしたちの未来をつくっていく」のもと、みんなと一緒に一歩ずつでも前に進んでいくためにルミネだからできることを考え、共に歩み続けます。

ルミネのサステナビリティ

<https://www.lumine.co.jp/sustainability/>

ルミネ荻窪

<https://www.lumine.ne.jp/ogikubo/>

WE ILLUMINATE
THE
FUTURE

わたしが選ぶ毎日が
わたしたちの未来を
つくっていく

